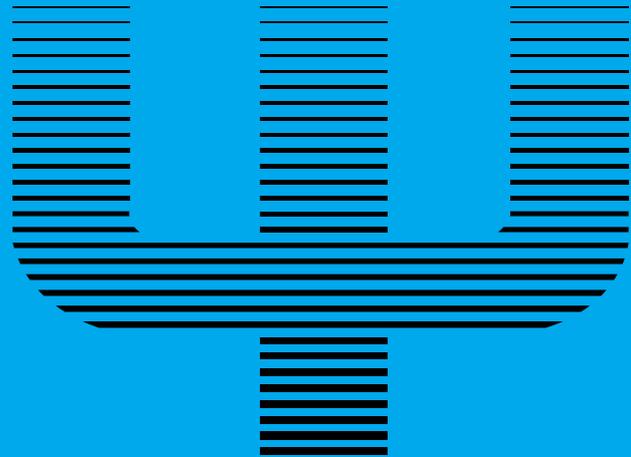


調査研究報告書 No.133
2006



ライフステージに応じたキャリア形成のための
モデルケース研究
— 相談者の特徴と支援の方向性 —

ライフステージに応じたキャリア形成のための
モデルケース研究
— 相談者の特徴と支援の方向性 —

はじめに

技術革新やサービス経済化が進展するに伴い、就業形態の多様化が進むなど、労働市場には様々な変化が起こっています。そのような中で労働者の雇用の安定・拡大を図るためには、労働者それぞれの適性や職業経験等に応じて自らが職業生活設計を行い、これに即した職業選択や職業訓練の受講等の職業能力開発を効果的に行うことができるように、相談体制の充実を図るとともに、情報提供を行っていくキャリア・コンサルティングを充実させることが重要になってきます。

また、キャリア・コンサルティングを行う際には、若年者、中高年齢者といった年齢層、労働者が個々に持つ経験を背景とした職業生活等の特性やパートタイム労働、派遣労働、在宅就業等の多様な就業形態など、さまざまなライフスタイルに配慮することも必要です。

そこで、本研究では様々なライフスタイルがある中から、年齢層別のライフステージに着目した、それぞれの年代におけるキャリア形成支援の方向性を探るため、実態調査を行い、相談者の方々のライフステージに応じたキャリア形成と支援について検討いたしました。この報告書が、相談を担当する方々を初めとして、キャリア・コンサルティングに携わる方々に広く役立つことができれば幸いです。

末尾ながら御多忙中にもかかわらず、本研究のアンケート調査及びヒアリング調査に御協力くださいました皆様及び本研究遂行に御尽力いただいた関係者各位に心より御礼申し上げます。

2006年2月

職業能力開発総合大学校

能力開発研究センター

所 長 重 律 男

ライフステージに応じたキャリア形成のためのモデルケース研究

委員

氏名	所属
八幡 成美	法政大学教授 キャリアデザイン学部
檜迫 敦子	キャプラン株式会社 東京本社事業開発グループ 新規事業開発部 部長
浜口 真吾	独立行政法人雇用・能力開発機構 兵庫センター
蒔田 昇	独立行政法人雇用・能力開発機構 広島センター
増子 和彦	独立行政法人雇用・能力開発機構 秋田センター
山崎 正裕	独立行政法人雇用・能力開発機構 生涯職業能力開発促進センター

事務局

氏名	所属
高山 純次	独立行政法人雇用・能力開発機構 職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター 開発研究部長
下町 弘和	同 訓練技法研究室長
菅原 由佳	同 研究室員
小堀 勝幸	同 研究室員
稲崎 浩	独立行政法人雇用・能力開発機構 職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター 客員研究員
遠藤 達哉	独立行政法人雇用・能力開発機構 雇用管理部 キャリア形成課 課長補佐
板野 隆文	独立行政法人雇用・能力開発機構 業務推進部 訓練計画課 専門指導役
樋口 健	三井情報開発株式会社 総合研究所 主任研究員
長尾 絹子	三井情報開発株式会社 総合研究所 研究員

(所属は2006年2月現在)

目 次

本調査研究報告書の概要	3
第1章 キャリア形成におけるライフステージのとらえ方	9
第1節 調査研究の目的	9
第2節 調査研究の視点	9
2-1 ライフステージのとらえ方	9
2-2 ライフステージにおける課題分析の視点（個人と環境）	11
第3節 調査研究スキーム	12
第2章 ライフステージ別にみたキャリア相談の実態Ⅰ（アンケート調査）	15
第1節 アンケート調査の概要	15
1-1 アンケート調査の目的	15
1-2 アンケート調査	15
第2節 アンケート調査結果	17
2-1 回答者のプロフィールと経験	17
2-2 年齢層別にみた相談内容や相談者の特徴	21
2-3 年齢層別のキャリア形成支援上の有効方策	30
2-4 キャリア形成支援上の課題	35
第3章 ライフステージ別にみたキャリア相談の実態Ⅱ（ヒアリング調査）	43
第1節 ヒアリング調査の概要	43
1-1 ヒアリング調査の目的	43
1-2 ヒアリング調査	43
第2節 ヒアリング調査結果	44
2-1 相談者の特徴	44
2-2 民間企業における先進的なキャリア相談制度の特徴	47
第4章 ライフステージを視点とした相談者の特徴と支援の方向性（実態調査からの示唆）	51
第1節 ライフステージ別にみた相談者分類	51
第2節 相談者の特徴と支援の方向性	52
2-1 ライフステージ区分：若年前期（年齢の目安 24歳以下）	54
2-2 ライフステージ区分：若年後期（年齢の目安 25歳～34歳）	56
2-3 ライフステージ区分：壮年期（年齢の目安 35歳～44歳）	58
2-4 ライフステージ区分：中高年期（年齢の目安 45歳～59歳）	60
2-5 ライフステージ区分：引退期（年齢の目安 60歳以上）	63

第5章 ライフステージを視点としたキャリア形成支援に係る提案	67
第1節 若年前期	67
1-1 この時期に対する理解	67
1-2 取組の方向性	68
1-3 典型的な相談テーマと事例	70
第2節 若年後期	74
2-1 この時期に対する理解	74
2-2 取組の方向性	74
2-3 典型的な相談テーマと事例	76
第3節 壮年期	79
3-1 この時期に対する理解	79
3-2 取組の方向性	80
3-3 典型的な相談テーマと事例	81
第4節 中高年期	84
4-1 この時期に対する理解	84
4-2 取組の方向性	85
4-3 典型的な相談テーマと事例	87
第5節 引退期	91
5-1 この時期に対する理解	91
5-2 取組の方向性	91
5-3 典型的な相談テーマと事例	93
第6章 今後の課題	99
1 若年者の就業観、職業観をはぐくむ環境整備	99
2 第一線在職者への貢献拡大	99
3 中高年向け教育訓練の開発	99
4 女性固有の課題への対応	99
5 メンタルヘルスへの対応	100
6 相談担当者の継続的な能力開発	100
資料	103
資料1 委員会概要	103
資料2 調査の実施	105
資料3 アンケート調査結果	107
資料4 ヒアリング調査結果	125